

東の風



やさしく
かしこく
たくましく

No.24

平成29年6月9日(金)

文責：園田

学校教育目標：心豊かに自ら学びたくましく生きる子どもの育成

子ども達の心をしっかり見つめましょう!

6月5日(月)～6月16日(金)



『心を見つめる共育旬間中』です。

今から14年前、そして13年前に県内で子どもによる2つの大変痛ましい事件が起きました。子ども達の心に何が起きているのだろうか。私達教師に、大人にできることはないのだろうか。大人の後ろ姿で示すだけでなく、子ども達にもっと真正面から向き合ってみようと、これまでの教育のあり方、子どもへの関わり方を反省し、その後、様々な取組が行われるようになりました。

長崎県では、5月～7月の間に「長崎っ子の心を見つめる教育週間」として一週間、学校を開放し、授業参観や子どもとの交流活動、教師との語り合い等をとおして、心豊かな子どもの育成を目指していこうという取組を実施してきました。それにもかかわらず、皆さん、まだ記憶に新しいと思いますが、佐世保では再び子どもの衝撃的な事件が起きてしまいました。「子ども達の心は・・・」「私達のやってきたことは何だったのか・・・」

学校現場は悩みました。地域も悩みました。様々な意見が飛び交いました。厳しい意見も寄せられました。ただ、私達が取り組んできたことに間違いはないと考えます。子どもの心を育てるという根本の気持ちや考え、取組は変わることはないと考えます。



誰にも色々な「心」があり、「心の揺れ動き」があります。心に「光」が見える時も、そうでない時もきっとあるでしょう。だからこそしっかりと「心」を表現し、見つめたいと思います。

本校のプール裏、人目に付かない場所ですが、そこに足を運ぶとこんな美しい花が咲いていました。蓮(はす)の花です。

濁った水の中にひっそりと咲いていて、その美しさに思わず目を奪われました。蓮の花の花言葉は「清らかな心」です。

子どもも大人も、そんな「心」でありたいものですね。



本校では今年度も

『母校・郷土を愛し、心豊かで優しく、たくましく生きる子供をみんなで育てましょう』をテーマとして、

上記期間5日～16日を学校開放旬間として設定し、地域・家庭・学校が一体となって子どもの教育について共に関わり、共に考えていく期間としています。期間中、まず先日の授業参観においては「道徳の授業公開」を実施しました。「命を守る取組」としてPTA保体部による「心肺蘇生法・AED講習会」も実施されました。(夏休み中のプール開放の際には保護者の皆様が監視をされますので、その意味からも大変意義があり重要です。)保護者の皆様、多数のご参観、ご参加、ありがとうございました。

来週は、保護者・地域の方との「東っ子を語ろう会(学校支援会議)」や「読み語りの会」の開催、地域の先輩方を先生として、「茶道」・「焼き物(陶芸)」・「生け花」「竹細工」・「古代文化」・「お菓子作り」・「日本舞踊」に取組む「さくらの学校」等、様々な取組を展開します。

子どもをより多くの目で見つめ、見守り、そして一緒に育みましょう。皆様の多数のご来校をお待ちしています。



先日、5年生が植えた稲の種籾がここまで育っています。



ミニトマトも実をつけています。いつ赤くなるかなあ。



4年生が丁寧に花の苗を丁寧に植えていました。

子ども達は学校で様々な「命」に関わりながら、心を育てています。